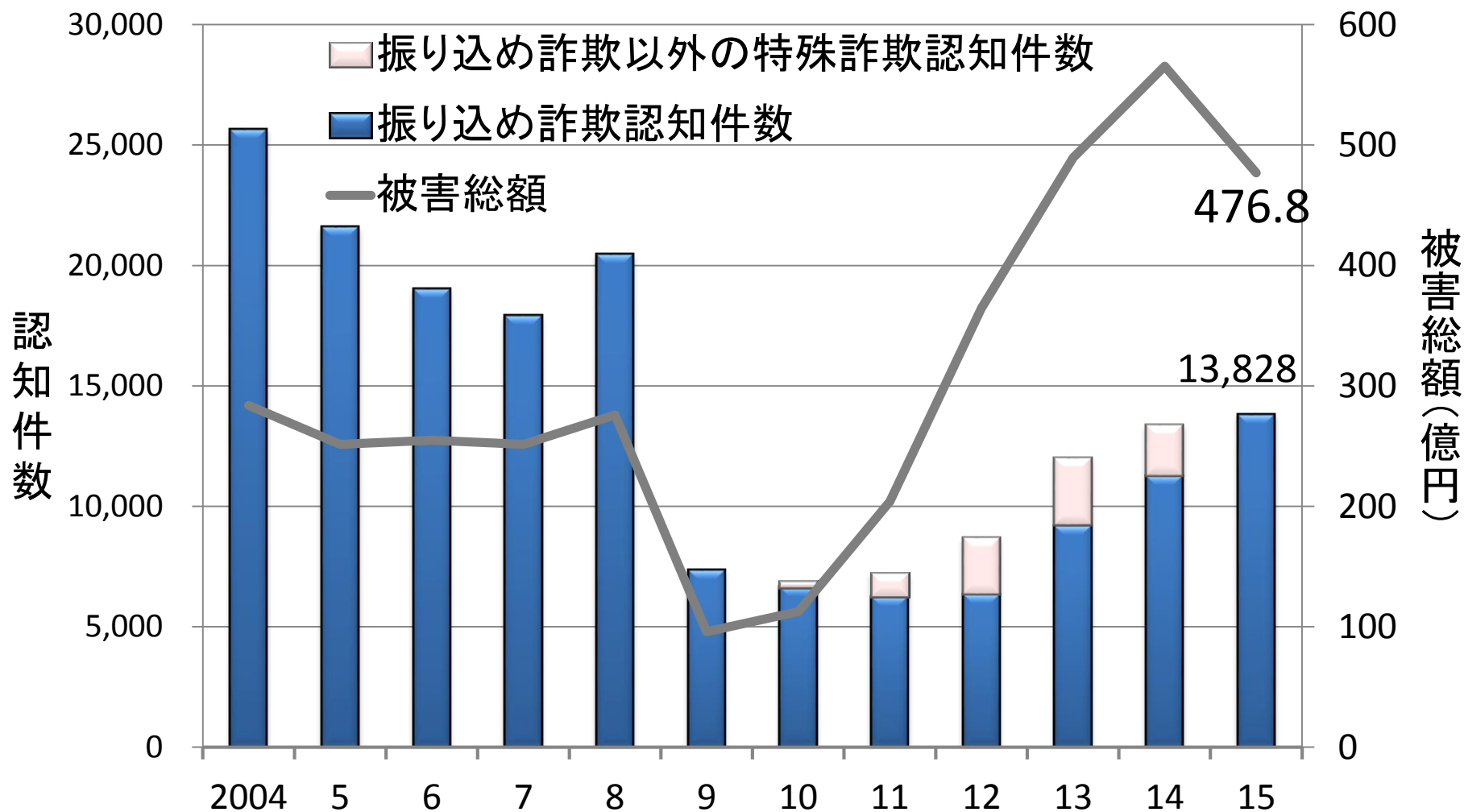


振り込め詐欺等の被害の推移

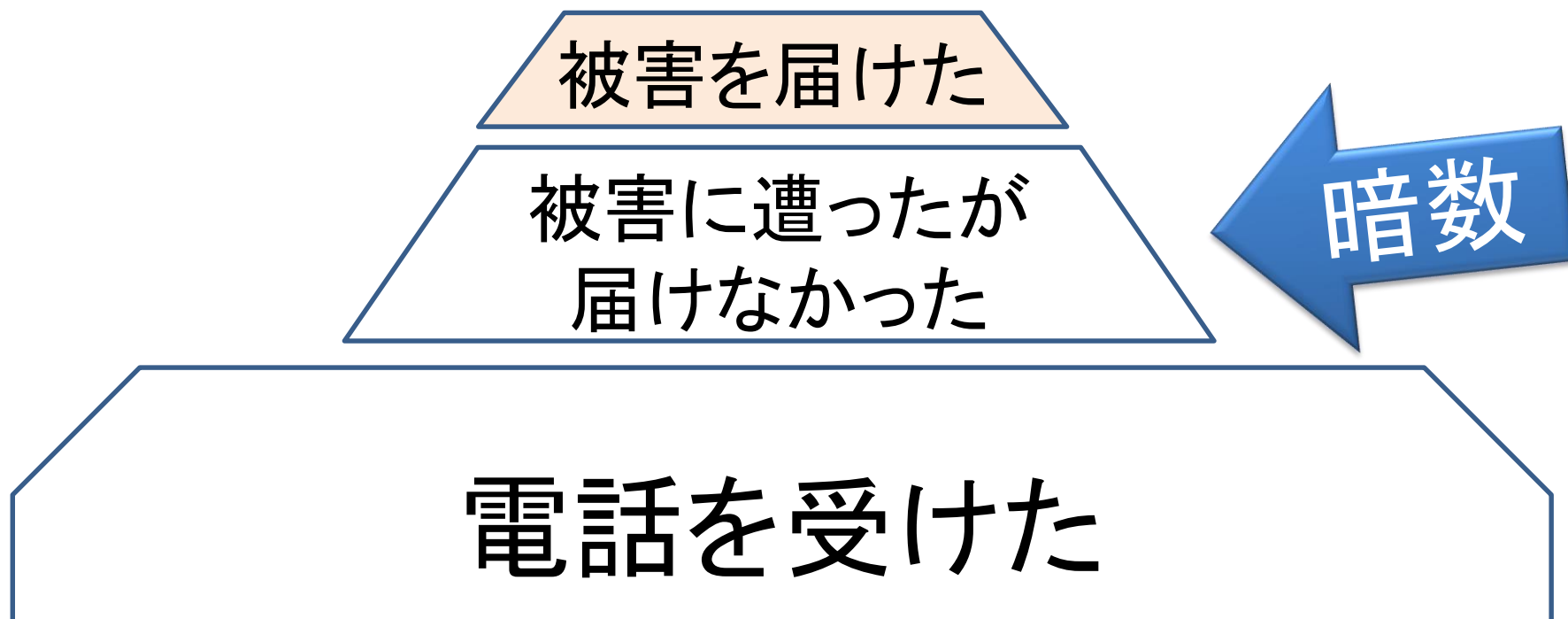


注1 警察庁の統計「平成26年の特殊詐欺認知・検挙状況等について」より作成。

2 2010年1月以前の数値には振り込め詐欺以外の特殊詐欺は含まない。2015年の値は、振り込め詐欺以外の特殊詐欺の数も含む。

振り込め詐欺の被害者 (2012年の値)

1. 年間約1万4千人 (統計に現れている認知件数)
2. 年間2万5千人近く (「暗数」を含めた推測)



被害者が受ける被害

- 金銭的損害
- 精神的な被害
- 被害回復が容易でない
- 被害を責められる
- 被害者の苦悩が知られていない



被害調査の結果(2011年)

1. 昨年、自身やその家族が振り込め詐欺の電話を受けたことがあるか

→ はい 10.6% (132/1,251)

2. 振り込め詐欺の電話を受けての対応
・・・相手の言うとおりに行動した

→ 9.8% (13/132)

被害者の特徴

1. 属性

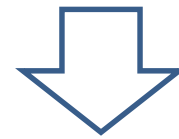
- 女性の方がやや多い、年齢層は35歳以上
- 既婚
- 同居家族人数 5人
- 居住年数長い(10～20年未満)

2. 特徴的な「特性」は見いだせず

ひとは状況の影響を受ける

- 不安
- 切迫感
- 焦り
- 潜在的な欲求
- 期待

冷静さや合理的な
考え方を欠く状態



判断や気持ちを動
かされる

被害者の苦悩

1. 自責の念や情けないという気持ちを持っている
2. 電話の音におびえる(電話の音が鳴るたびに記憶が蘇り、心臓がドキドキする)
3. 被害に遭ったことを息子に打ち明けたところ、逆に叱責され、以来関係が悪化している
(誰とでも打ち解けて話す母親の行動に問題がある、と責められている)


被害者の苦悩(続き)

4. 孤立を深め、自殺を考えた


(「電話がかかってきた時こうしていれば…」と自分を責め続けるうちに、眠れず、食欲も失せた。相談できる相手もいない)

5. 被害を恥と感じ、家族や友人にも相談できず、家に閉じこもりがちになった。

事例に共通する状況



人に話せない
自分自身を責める
家族の中で孤立を深める

- 
- 被害に遭った上に、さらに自分自身を追い込んでしまったり、責められたりして苦悩を抱える

- 
- そうした状況に至る原因や背景がある